



秋田市地震防災マップ

揺れやすさマップ

(最大の震度となるとききの震度分布図)

このマップは、秋田市耐震改修促進計画に基づき、地震時の被害（建物や人身の被害）を軽減するために、秋田市内で想定される最大の揺れ（震度）を示す地図として作成したものです。

強い揺れに見舞われた時、耐震性の低い建物では建物全半壊などの被害やそれによる人的被害が発生すると言われています。また、強い揺れにより建物内の家具などの転倒やガラスの飛散などで、思いもかけずケガをするなどの被害も起きています。

市民の皆様がお住まいの家屋などを、耐震診断や耐震改修を行って、自らの生命と財産を守る地震に強い家屋とする際に、このマップをぜひ参考にしてください。

このマップについてのお問い合わせは、
秋田市都市整備部建築指導課 ☎888-5769
までお寄せください。

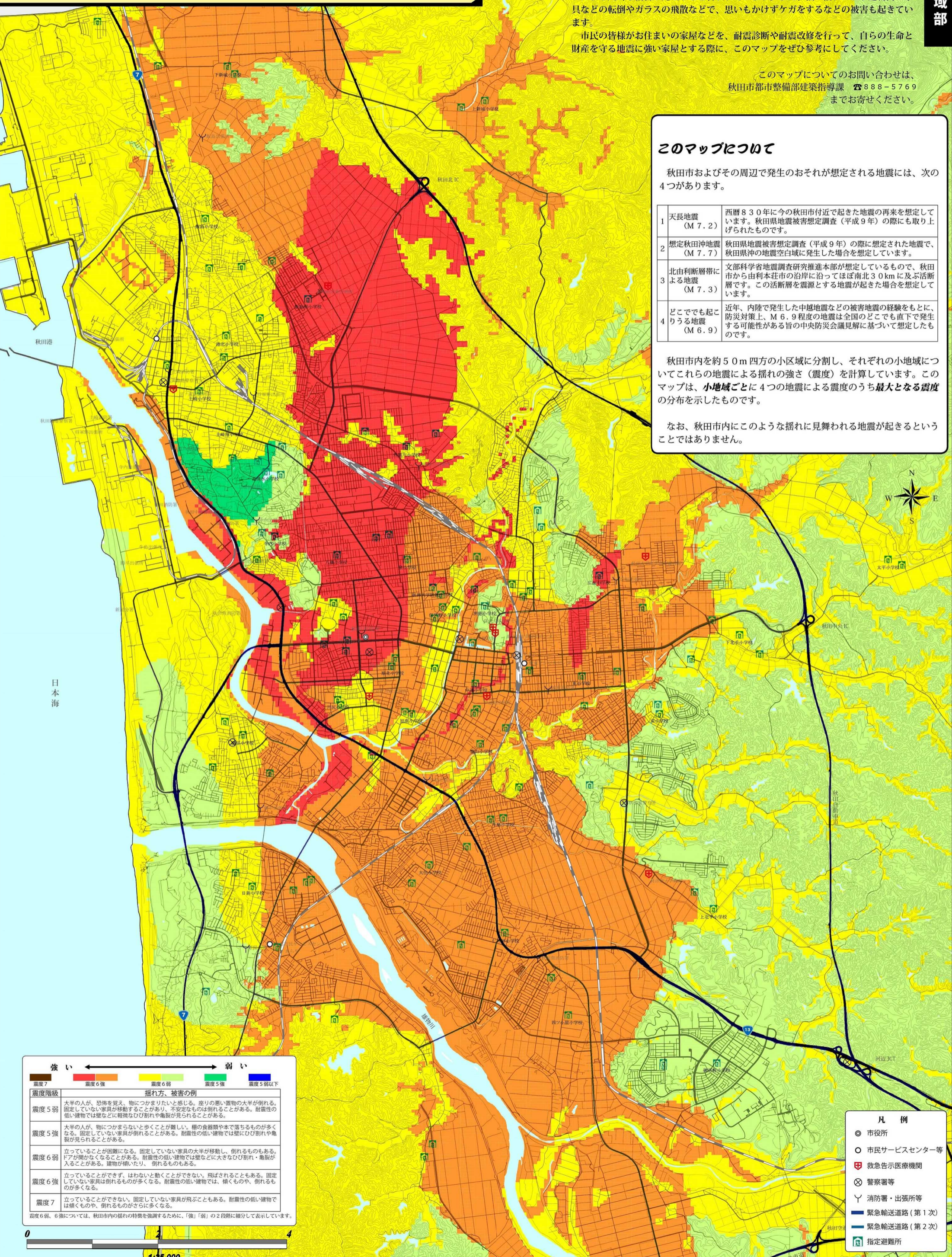
このマップについて

秋田市およびその周辺で発生のおそれが想定される地震には、次の4つがあります。

1	天長地震 (M 7.2)	西暦830年に今の秋田市付近で起きた地震の再来を想定しています。秋田県地震被害想定調査(平成9年)の際にも取り上げられたものです。
2	想定秋田沖地震 (M 7.7)	秋田県地震被害想定調査(平成9年)の際に想定された地震で、秋田県沖の地震空白域に発生した場合を想定しています。
3	北由利断層帯による地震 (M 7.3)	文部科学省地震調査研究推進本部が想定しているもので、秋田市から由利本荘市の沿岸に沿ってほぼ南北30kmに及ぶ活断層です。この活断層を震源とする地震が起きた場合を想定しています。
4	どこでも起こりうる地震 (M 6.9)	近年、内陸で発生した中越地震などの被害地震の経験をもとに、防災対策上、M 6.9程度の地震は全国のどこでも直下で発生する可能性がある旨の中央防災会議見解に基づいて想定したものです。

秋田市内を約50m四方の小区域に分割し、それぞれの小地域についてこれらの地震による揺れの強さ（震度）を計算しています。このマップは、**小地域ごと**に4つの地震による震度のうち**最大となる震度**の分布を示したものです。

なお、秋田市内にこのような揺れに見舞われる地震が起きるということはありません。



強い ← → 弱い

震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱以下
震度階級				
揺れ方、被害の例				
震度5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。耐震性の低い建物では壁などに軽微なひび割れや亀裂が見られることがある。			
震度5強	大半の人が、物につかまらなと歩くことが難しい。棚の食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。耐震性の低い建物では壁にひび割れや亀裂が見られることがある。			
震度6弱	立つていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。耐震性の低い建物では壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。建物が傾いたり、倒れるものもある。			
震度6強	立つていることができず、はわないと動くことができない。飛ばされることもある。固定していない家具は倒れるものが増える。耐震性の低い建物では、傾くものや、倒れるものが増える。			
震度7	立つていることができない。固定していない家具が飛ぶこともある。耐震性の低い建物では傾くものや、倒れるものが増える。			

震度6弱、6強については、秋田市内の揺れの特徴を強調するために、「強」「弱」の2段階に細分して表示しています。

0 4

1:25,000

凡例

- 市役所
- 市民サービスセンター等
- ☒ 救急告示医療機関
- ⊗ 警察署等
- ⌵ 消防署・出張所等
- 緊急輸送道路(第1次)
- 緊急輸送道路(第2次)
- Ⓜ 指定避難所

この地図の作成に当たっては、国土院理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)及び基礎地図情報を使用しました。(承認番号)平22業使、第207号

このマップについてのお問い合わせは、
秋田市都市整備部建築指導課 までお寄せください。